



世界中の笑顔が収められた「MERRY EXPO- Book of global exchange」の表紙は、万博で使用済みとなった段ボールをリユースし、一冊一冊手で製本したものだ。匂いまで届いてきそうな優しい手触りの本をめくってゆけば、次々とキラキラした表情が目飛び込んできて、思わずこっちまでニコッとしてしまう。23カ国からの直筆メッセージは日本語と英語に翻訳され、「雨が降ること」「今日は誕生日！それがすべて」といった多様な詩的なバリエーションは、シンプルだけど世界の奥深さを感じるのに十分！



『笑顔は世界共通のコミュニケーション。だからこそ世界をよい方向に動かせる力があると思います。』と水谷氏は言う。テレビをつければ悲惨なニュースと物憂げな表情ばかりがひっきりなしに流れるけど、誰だって笑顔を持っているという当たり前のことを、Merry PROJECTは思い出させてくれるだろう。

嬉しければこみあげるあの自然な微笑みは、人種、世代、あるいは歴史、あらゆる壁をすんなりと越えてしまう力強いパワーを秘めている。そんな笑顔のあふれる場を生み出しつづけるMerry PROJECT、次の展開がとても楽しみだ。

※半年にわたって世界をめぐる波乱万丈の撮影日記の制作に、僕も関わりました。こちらからそのスクリーンマガジンをご覧ください。

Merry EXPO in TOKYO

会期：2006年2月2日～2月14日

会場：ミキモト本店

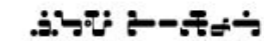
住所：東京都中央区銀座4-5-5 6F ミキモトホール

<http://www.21merry.net>

Text and Photos: [Yoshihiro Kanematsu](#)

都内で開催されるイベントなどカルチャー情報をお寄せください。情報提供、記事の感想などお待ちしております。宛先は、kanematu@whynotnotice.com まで。

Direct borderground source from



tokyo

Text and Photos: [Yoshihiro Kanematsu](#)



MERRY EXPO IN TOKYO

冬本番の2月2日～2月14日まで、銀座のミキモト本店で「Merry EXPO in TOKYO」が開催された。昨年の愛知万博で愛・地球広場のシンボルコンテンツとして展開された「Merry EXPO」、それを一冊の本にまとめたビジュアルブック「MERRY EXPO- Book of global exchange」の刊行記念エキシビジョンだ。会場では世界中から届いた飛びきりの笑顔であふれ、ほっとするようなとてもピースな雰囲気包まれていた。



「Merry PROJECT」は、アートディレクター水谷孝次氏による、笑顔をテーマにしたコミュニケーションアートだ。「あなたにとってMerryとは何ですか？」という質問を投げかけ、その笑顔とメッセージを集める。その集めた写真とメッセージを、映像やポスター、ビジュアルブックやフリーペーパーなど、様々なメディアで発信してきた。

1999年のスタート以来、震災後の「Merry in KOBE」やテロ後の「Merry in NEW YORK」など世界各地で、笑顔のネットワークは広がり続けていて、昨年の「Merry EXPO」では、愛・地球広場の大型ビジョンで世界23カ国、20000人以上（！）という笑顔とメッセージが映し出された。今回の「Merry EXPO in TOKYO」でも同じ笑顔のスライドが流れ、ホンモノの声とともに空間を彩っていた。